

普及活動情勢報告

情勢報告（平成28年3月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

新規就農者向け出荷場見学勉強会



3月4日、J A四万十興津出荷場で新規就農者3名を対象に勉強会を開催しました。

始めてみる選果作業などを興味を持って見学しました。普及所からの少しの異物混入でも産地全体のイメージを損なうことがあるという説明を受け、出荷作業の重要性を理解していました。

農作業が忙しくなるため、3月下旬の次回勉強会が最後となりますが、普及所とJ Aが協力して産地を担う後継者育成に努めていきます。

平成27年度夏秋ピーマン部会通常総会



3月3日、J A四万十本所で夏秋ピーマン部会の総会が実施されました。部会員21名が参加し、H27年度の事業実績とH28年度事業計画について審議しました。

普及所からは、H27年度の天候の推移について説明し、成績上位者がどのような防除をしていたかをまとめて報告しました。当部会では在来天敵が侵入して防除に一役買っていますが、病気は薬剤による予防しかありません。次年度も普及所は適切な病害虫管理について助言していきます。

集落営農推進研修会



3月9日、管内80集落営農組織・2集落に呼びかけて、関係機関が連携して研修会を開催しました。

25組織・1集落から37人の参加があり、普及所からは、補助事業等も活用しながら、継続できる組織経営体を目指す一歩を踏み出そう、投げ掛けを行いました。あわせて、集落営農組織を対象とする平成28年度補助事業等の説明・情報提供を行いました。

アンケートでは、次年度以降に飼料用米の作業受託を考えたいといった回答がありました。

今後も、普及所は集落営農の活動を支援していきます。

J A 四万十ピーマン部会目慣らし及び現地検討会



3月11日、ピーマン部会員13名が参加して目慣らし会を実施しました。年内からの天候不順で出荷量は伸び悩んでいましたが、現在では前年同月比20%増まで出荷量が増えてきました。

普及所からは、春になるとおこりやすい生理障害について資料をもとに説明しました。その後の現地検討会でも、加温機が稼働しない日が増えてくると発生しやすい病気や生理障害があるので、改めて注意を促しました。

今後も J A と普及所が連携して部会活動を支援していきます。

平成27年度 J A 高知はた十和ししとう部会総会及び栽培講習会



3月16日、J A 高知はた十和支所でししとう部会の総会及び栽培講習会が実施されました。部会員68名が参加し、H27年度の事業実績とH28年度事業計画について審議しました。28年度には北幡全支所でエコシステム栽培への移行することになりました。

普及所からは、H27年度の天候や出荷実績を基にした課題、光合成を意識した圃場選定や栽培管理、農薬の適正使用について報告しました。次年度も高齢化による部会員が減少進む中で、出荷量を維持できるよう、普及所は適切な栽培管理や病害虫管理について助言していきます。

島根県島の香り隠岐藻塩米生産者との現地視察および意見交換会



3月16日、J A 四万十管内で J A 四万十厳選にこまると島の香り隠岐藻塩米の生産者による意見交換会を実施し、関係機関を含め11名が参加しました。

普及所から情報提供したH27年度 J A 四万十厳選にこまるで実施した土壌分析に基づく土づくりについて、島根県生産者から、食味を良くするためには苦土含量を多くすべきという貴重な意見を頂きました。

普及所は今後も、四万十町産米の全国ブランド化に向けた取り組みを支援していきます。